

シーン - 5 未利用熱活用設備開発事業

事業目的

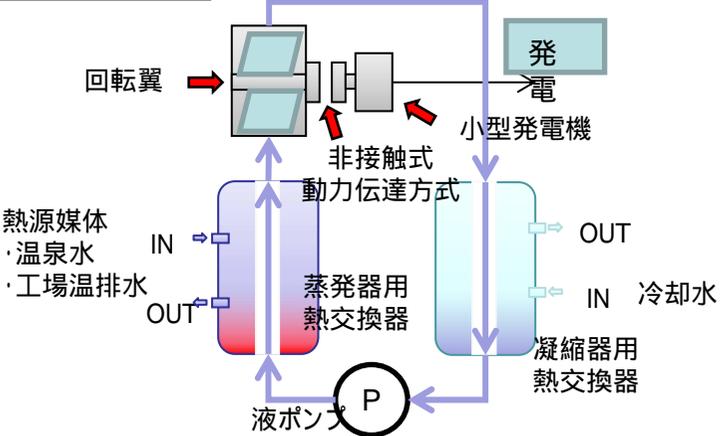
宮城県には約760か所の温泉源泉があるほか、排熱を伴う製造業の工場などがありますが、これらの熱エネルギーは必ずしも有効利用されていません。これらの利用されていない熱エネルギー（未利用熱）について、地域の企業が持っている技術を用いて、未利用熱を利用した発電技術の開発へ応用できないかを検討します。また、県内での未利用熱の発生状況を調査することにより、今後の未利用熱による発電関連機器の普及の可能性等について評価を行います。

事業効果

CO2削減効果	-
その他 (調査対象事業所)	20事業所

事業内容

- 【事業概要】**
- (1) 未利用熱有効活用ニーズ調査
県内における未利用熱の活用を希望する事業所の調査をします。
 - (2) 発電機に関する技術調査・原理機能確認
温泉水等の熱源媒体による機器類への影響調査や未利用熱発電に適した小型発電機等の試作と課題の調査を行います。
- 【平成26年度事業費】** 2,500千円
- 【実施主体】** 宮城県



未利用熱活用発電システム

